

公益財団法人平野政吉美術財団

令和5年度 事業実施計画

I 展示公開事業

II 教育普及事業

III 調査研究事業

IV 美術ホール運営事業

V 売店事業

令和5年4月1日～令和6年3月31日

<基本方針>

1930年代の藤田嗣治の油彩画を中心とした平野政吉コレクションの展示や美術品に関する調査・研究等をふまえ、県民をはじめ広く世界に当財団の基本財産の意義を発信する。

<重点事業>

- 基本財産調査の研究の成果を、展示公開事業である常設展、企画展、特別展に生かす。
- 企画展は、平野政吉コレクションの藤田嗣治作品とコレクションの中から空が印象的な作品を展覧する企画展「平野政吉コレクション 空を見つめる」を開催する。
- 特別展としては、大正時代に活躍し日本のデザインに影響を与えた作家たちの作品を展示する「乙女デザイナー—大正イマジユリィの世界—」、江戸時代の浮世絵師・葛飾北斎の代表作の一つ『北斎漫画』全15編を展覧する「浦上コレクション 北斎漫画—驚異の眼、驚異の筆—」、藤田嗣治と斎藤真一が描いた旅に関する作品を展示する「旅する画家 藤田嗣治・斎藤真一」、世界の写真家たちが収めた自然や異国文化を紹介する写真等を展示する「ナショナル ジオグラフィック展 地球の真実」を開催する。
- 教育普及事業としては、専門的美術講座、講演会、美術館教室やワークショップ、ギャラリートーク、コンサート、出前授業等のイベントを実施し、県民に親しまれる美術館を目指す。
- 壁画《秋田の行事》については、月一回の定例ギャラリートークを実施する。平野政吉と藤田嗣治の交流、および壁画のテーマとなった「秋田」について理解を深めることができるような解説を行う。
- 学校と連携し、美術館における幼児、児童、生徒、大学生の学習の充実に務める。
- セカンドスクールについては、学年に応じた解説を行い、ワークシートを活用し、作品に向き合う姿勢を涵養する。
- セルフガイドの作成、わかりやすい解説など、よりよい鑑賞の実現に取り組む。
- 展示作品について研修し、他の美術館と交流し、美術館スタッフの資質向上に努める。

<貸しホール事業>

- 県民の創作活動発表の場である美術ホール（県民ギャラリー）は、ホールの特性を生かした利用促進を図る。

I 展示公開事業

<1> 常設展示事業

平野政吉コレクションの核である藤田嗣治作品を展覧し、1930年代の藤田の画業を紹介する。

常設展 平野政吉コレクション展Ⅰ

1 会 期 令和5年4月22日（土）～7月2日（日）

2 会 場 大壁画ギャラリー

3 趣旨

平野政吉コレクションから、藤田嗣治が子どもや動物など小さなものへの想いを込めて描いた作品を展覧する。

4 主な展示作品

藤田嗣治《秋田おばこ》、《猫》、『魅せられたる河』など

常設展 平野政吉コレクション展Ⅱ

1 会 期 令和5年7月8日（土）～9月10日（日）

※休館日 8月8日（火）

2 会 場 大壁画ギャラリー

3 趣旨

平野政吉コレクションから、藤田嗣治が1930年代に制作した油彩画を展示する。

4 主な展示作品

藤田嗣治《北平の力士》、《客人（糸満）》など

常設展 平野政吉コレクション展Ⅲ

1 会 期 令和5年9月16日（土）～11月12日（日）

2 会 場 大壁画ギャラリー

3 趣旨

平野政吉コレクションから、藤田嗣治が描いた妻・マドレーヌをモデルとした油彩画を展示。あわせて藤田の水彩画を紹介する。

4 主な展示作品

藤田嗣治《眠れる女》、《五人女》、《裸婦立像》、《裸婦》など

常設展 平野政吉コレクション展Ⅳ

1 会 期 令和5年11月18日（土）～令和6年1月21日（日）

※休館日 12月31日（日）～1月2日（火）

2 会 場 大壁画ギャラリー

3 趣旨

平野政吉コレクションから、藤田嗣治が日本に構えたアトリエを描いた油彩画、中南米での藤田の収集品などを紹介する。

4 主な展示作品

藤田嗣治《吾が画室》、《私の画室》、中南米での収集品など

<2> 企画展示事業

平野政吉美術財団所蔵作品、および秋田県立近代美術館所蔵作品、県内の研究者の協力を組み合わせた展覧会を開催する。

企画展 平野政吉コレクション 空を見つめる

1会 期 令和6年1月27日(土)～4月21日(日)(予定)

※休館日 3月11日(月)～3月20日(水)

2会 場 ギャラリー1・2

3趣旨

平野政吉コレクションから、空が印象的な作品を展観する。

<3>特別展示事業

美術の動向や時代の状況を踏まえてテーマを設定し、他館からの借用作品を中心に構成した展覧会を開催する。

特別展 乙女デザイン—大正イマジユリィの世界—

1会 期 令和5年4月22日(土)～7月2日(日)

2会 場 ギャラリー1・2

3趣旨

イマジユリィ“imagerie”とは、イメージ図像を意味するフランス語で、装幀、挿絵、ポスター、絵はがき、広告、漫画など大衆向けの印刷物・版画の総称。マスメディアの発達や印刷技術の進歩により、多彩な大衆文化が開花した大正～昭和初期。さまざまな書籍や印刷物のイマジユリィが人気作家によって描かれ、今も幅広い世代の人々の心を魅了している。

本展では、アール・ヌーヴォー様式の橋口五葉、アール・デコに取り組んだ杉浦非水や小林かいち、少女趣味の高島華宵、抒情的な乙女像で一世を風靡した竹久夢二、そして秋田出身の橋小夢など、大正イマジユリィを生み出した作家たちを紹介する。

4主な展示作品

竹久夢二《涼しき装ひ》『三越』第15巻6号より、橋口五葉《龍膽》『新小説』第2巻第3号口絵、高島華宵『少女画報』第16巻第4号表紙

特別展 浦上コレクション 北斎漫画—驚異の眼、驚異の筆—

1会 期 令和5年7月8日(土)～9月10日(日)

※展示替え休館 8月8日(火)

2会 場 ギャラリー1・2

3趣旨

世界的に有名な江戸時代の浮世絵師・葛飾北斎(1760-1849)。19歳で絵師となってから90歳で亡くなるまで、数多くの名作を残している。その中でも《富嶽三十六景》と並び代表作として知られているのが『北斎漫画』。1814(文化11)年、弟子たちの画手本として初版が刊行されると、庶民からも好評を博し、北斎没後の1878(明治11)年まで60年余にわたり全15編が刊行された。『北斎漫画』には、人々の生活や動植物、自然現象や各地の名勝、さらには神仏、幽霊まで、あらゆるものを生き生きと描き出されている。

本展では、世界一の質と量を誇ると称される浦上満氏の『北斎漫画』コレクションより、厳選された約200点を前後期に分けて紹介する。

4主な展示作品

葛飾北斎《人物百態Ⅲ》初編、《雀踊り》三編、《縦・横》十二編

特別展 旅する画家 藤田嗣治・齋藤真一

1会 期 令和5年9月16日(土)～11月12日(日)

2会 場 ギャラリー1・2

3趣旨

藤田嗣治は生涯にわたり、世界各地を旅した画家である。1930年代、藤田はパリを離れ、中南

米、北米、日本各地や中国を旅する。各国の文化や風土に触れ、藤田は新たなモチーフや構図などに次々と挑戦していった。1959年にヨーロッパに留学した齋藤真一は、フランスで憧れていた藤田に出会う。そこで齋藤は、藤田に秋田や東北へ行くことを勧められる。帰国した齋藤は、藤田の言葉どおり東北・津軽地方を旅し、そこで盲目の女性旅芸人・瞽女の存在を知り、強く惹かれるようになる。その後、齋藤は越後を訪ね、旅に明け暮れる越後瞽女の足跡を辿りながら、瞽女たちの純粋な心、生き様を描き出した。

本展では、藤田と齋藤、その創作の源泉となった「旅」に注目し、それぞれの画業における「旅」の意味に迫る。

4 主な展示作品

藤田嗣治 《カーナバルの後》、《客人（糸満）》、《榛名湖》

齋藤真一 《雨の降る日》、《吹雪の日》、《赫い陽の道》

特別展 ナショナル ジオグラフィック展 地球の真実

1 会 期 令和5年11月18日（土）～令和6年1月21日（日）

休館日 12月31日（日）～1月2日（火）

2 会 場 県民ギャラリー、ギャラリー1・2

3 趣旨

1888年に設立されたナショナル ジオグラフィック協会は、同年会員誌『ナショナル ジオグラフィック』を創刊すると、1世紀以上にわたり歴史的発見と地球の真実を伝え続けてきた。「マチュピチュの発掘」や「タイタニック号発見」など多くの著名な探検家や科学者、研究者たちの活動を支援して得られたその記録の数々は、徹底した取材と世界有数の写真家たちによる美しく迫力溢れる作品で世界中の人々に伝えられ、驚嘆と感動を与え続けている。

本展では、ナショナル ジオグラフィック誌の所有する1100万点に及ぶ膨大なコレクションの中から厳選した写真を様々なテーマに分けて構成し展覧する他、誌面を飾った数少ない日本人写真家である岩合光昭、野町和嘉の作品も交え、私たちが住む地球の姿を、ありのままに捉えた写真で展望する。

4 主な展示作品

スティーブ・マッカーリー《アフガン難民の少女》、ウェス・C・スカイルズ《バハマの水中洞窟》、岩合光昭《親子のきずな》、野町和嘉《牛牧民の時代：牛と5人の人物》

II 教育普及事業

美術館に親しみ、美術への理解を深めてもらうため、さまざまな年齢層、多様な立場の方を対象にした講演会、美術館教室、ワークショップ、ギャラリートークなどを実施する。

(1) 専門的美術講座

事業名 専門的美術講座「館長講話 子どもの絵について（仮題）」

講師 渋谷重弘（秋田県立美術館 館長）

実施日 令和5年11月（予定）

対象 一般

会場 レクチャールーム

(2) 講演会

事業名 「大正イマジユリィのあれこれ」

講師 山田俊幸（展覧会監修者・元帝塚山学院大学教授）

実施日 令和5年5月14日（日）

対象 一般

会場 レクチャールーム

事業名 「北斎漫画展」関連講演会
講師 浦上満（展覧会監修者・浦上蒼穹堂代表）
実施日 令和5年7月（予定）
対象 一般
会場 県民ギャラリー（予定）

事業名 「ナショナル ジオグラフィック展」関連講演会
講師 未定
実施日 令和5年11月（予定）
対象 一般
会場 レクチャールーム（予定）

（3）美術館教室

事業名 美術館教室「手話による作品解説（仮題）」
講師 学芸員、手話通訳者
実施日 令和5年9月（予定）
対象 一般
会場 大壁画ギャラリー（予定）

事業名 美術館教室「館長によるデッサン講座（仮題）」
講師 渋谷重弘（秋田県立美術館 館長）
実施日 未定
対象 一般
会場 レクチャールーム（予定）

（4）ワークショップ

事業名 ワークショップ「モダンデザイン絵はがきづくり（仮題）」
講師 未定
実施日 令和5年6月（予定）
対象 一般
会場 レクチャールーム

事業名 ワークショップ「親子で楽しむ北斎漫画（仮題）」
講師 未定
実施日 令和5年8月（予定）
対象 小学生以上、一般
会場 レクチャールーム

事業名 ワークショップ「大自然の動物に迫る（仮題）」
講師 未定
実施日 令和5年12月（予定）
対象 一般
会場 レクチャールーム

（5）ギャラリートーク

特別展 「乙女デザイナー—大正イマジユリィの世界—」
実施日 令和5年5月、6月
講師 学芸員

会場 ギャラリー1・2

特別展 「浦上コレクション 北斎漫画—驚異の眼、驚異の筆—」

実施日 令和5年7月、8月

講師 学芸員

会場 ギャラリー1・2

特別展 「旅する画家 藤田嗣治・齋藤真一」

実施日 令和5年9月、10月

講師 学芸員

会場 ギャラリー1・2

特別展 「ナショナル ジオグラフィック展 地球の真実」

実施日 令和5年11月、12月

講師 学芸員

会場 ギャラリー1・2

企画展 「平野政吉コレクション 空を見つめる」

実施日 令和6年2月、3月

講師 学芸員

会場 ギャラリー1・2

学芸員による《秋田の行事》トーク

実施日 毎月第1土曜日、竿燈期間中—令和5年8月3日(木)、8月4日(金)、8月5日(土)、8月6日(日)

講師 学芸員

会場 大壁画ギャラリー

(6) ミュージアムコンサート

事業名 「中南米の民俗楽器コンサート(仮題)」

出演者 未定

実施日 令和5年10月下旬(予定)

会場 県民ギャラリー(予定)

(7) エリアなかいち関連イベント

事業名 「ちぎり絵《秋田の行事》を完成させよう(仮題)」

実施日 令和6年2月上旬(予定)

講師 学芸員

会場 にぎわい交流館AU

(8) 出前講座

事業名 「壁画《秋田の行事》からのメッセージ」

実施日 未定

講師 学芸員

実施校 未定

Ⅲ調査研究事業

《秋田の行事》をはじめとする平野政吉コレクション、および藤田嗣治の作品を調査研究し、その成果を公表する。

Ⅳ美術ホール（県民ギャラリー）運営事業

事業内容

1. 絵画、デザイン、彫刻、書道、写真、児童・生徒作品等、美術ホール（県民ギャラリー）で展示する個人および団体の利用受付業務、展示指導を行う。
2. 美術ホール（県民ギャラリー）と2階・3階の展示室あわせての鑑賞を促進する。

Ⅴ売店事業

藤田作品の理解を深めるため、インターネットでの《秋田の行事》の額絵販売を行う。
秋田県立美術館ミュージアムショップ運営業者へ絵はがき等の販売を委託する。